

●ARBの等価換算について

降圧薬の一つとしてアンジオテンシン受容体拮抗薬（以下、ARB）があります。ARBはアンジオテンシンⅡの受容体への結合を阻害することにより、降圧効果を発現します。2024年6月現在、当院ではARBとしてアジルサルタン、イルベサルタン、オルメサルタン、カンデサルタン、バルサルタンが採用されています（配合剤を除く）。

今回はARBの等価換算について示します（赤字は当院採用薬）。ただし、体内動態には個人差があるため目安としてください。

エナラプリル (基準)	2.5 mg	5 mg	10 mg
アジルサルタン	5 mg	10 mg	20mg
イルベサルタン	25 mg	50 mg	100 mg
オルメサルタン	5 mg	10 mg	20 mg
カンデサルタン	2 mg	4 mg	8 mg
テルミサルタン	10 mg	20 mg	40 mg
バルサルタン	20 mg	40 mg	80 mg
ロサルタン	12.5 mg	25 mg	50 mg

アジルサルタン：カンデサルタン 8 mg、12 mgに対して有意差があるという報告はあるが、等価換算に関するデータが少ない。

ロサルタン：抗蛋白尿効果と降圧効果は独立しており、抗蛋白尿効果に対してエナラプリル 5 mgとロサルタン 50 mgが同程度の効果を有するという報告がある。

当院での採用がないARBを持参し入院する患者さまのARBを切り替える際の目安としてご活用ください。